

(株)フクナガエンジニアリングがお送りする環境ビジネス情報誌

FECON NEWS

フェコニュース

2006.SUMMER
vol.18




株式会社フクナガエンジニアリング
<http://www.ecosoft.co.jp>

International
Organization
For Standardization

14001

フクナガ流 ISO14001 認証取得プロジェクト

contents

- CLOSE UP
フクナガ流 ISO14001 認証取得プロジェクト
- エコソフトバッグの 
上毛資源株式会社
- フクナガ探検隊
リサイクル事業部
氷室浩一氏
- エコソフトタイヤ開発談
- CTRタイヤ紹介
- 営業マン「乾の日記」
- 社員旅行レポート
- information
- 読者プレゼント
- 4コマ エコ太くん

1992年に開催された地球サミットをきっかけに規格策定が始まり、1996年に発行されたISO14001。これは「環境に与える負荷をなるべく低減するために、組織内で環境方針を策定し、それに基づいた目的・目標の設定、実行、見直しを行う一連の仕組みを構築すること」を目的に定められた、環境に関する国際的な標準規格です。今や、この認証を取得していることが、「環境に配慮した組織活動を行っている」かどうかの判断材料になることもあって、取得企業は世界的に年々増加。中でも日本は取得件数において世界トップとされています。

当初は電子・電気業界での取得が主体だったそうですが、今やあらゆる業種に広がり、最近では自治体や商社、病院、銀行などの取得も増えていると言います。とはいえ、大手はともかく、人や資本が限られている中小企業にとって取得にかかるコストや時間を捻出するのは容易ではありません。2004年2月にフクナガも取得※しましたが、大きなチャレンジでした。そこで今回は、当社が実際に体験した取得までのプロセスと取得後の環境マネジメント活動を一挙大公開。その内容と事務局メンバーの奮闘ぶりについて熱きレポートをお届けします。

※認証取得範囲は本社のみです

フクナガ流 ISO14001 認証取得プロジェクト



膨大な文書づくりに、休日出勤も辞さず

「プロジェクトスタートにあたって、まず中村先生が『この文書はいつまでに作成する』といった期限つきの年間スケジュールを立案。それに従い、実務を進めていったのですが、余裕を持って期限を守れた試しはないですね(笑)とにかく文書量が膨大なうえ、通常業務と掛け持ちをしていただけに、なかなか時間が取れなくて…。提出期限ギリギリになって取りかかり、それでも間に合いそうもない時は、休日返上で仕上げていました」。

努力の甲斐あって目標通り、2004年2月に晴れて認証を取得。だが、それで肩の荷が下りたわけではなかった。構築した環境活動の仕組みについて継続的な見直しを図りながら、他の従業員を内部監査員に養成するという一大任務が待ち受けていたのだ。「しかし、当初は取得できた達成感から一時的にモチベーションが低下しましたね。また、繁忙期とも重なり、通常業務だけで手一杯という状態がしばらく続きました」と手嶋氏。一方の東氏も「取得前は事務局だけで進められたのが、取得後は他の従業員も巻き込んでいかなきゃならなくなった。その分大変さも倍増しました。そんな経験も初めてだったので、勉強会を開きたくても全員が一堂に会する時間をつくることすら難しかった」と振り返る。そこで、朝礼の時間を利用して週1回環境教育を実施することにした。「また、現場の理解と協力を得るため、理論だけでなく具体策を伝えることに努めました。たとえば、消防法云々というのではなく、軽油は地面に直接置くとフォークリフトがぶつかって軽油が流れ出し、土壌汚染の恐れがあるため必ず受け皿を置いてくださいというように」。

さらに、環境負荷の低減策という「紙・ゴミ・電気の使用量削減」が一般的だが、それに加え「環境配慮型の製品開発」など事業活動とリンクした活動を推進。これが同社の特徴でもある。「自然に無理なく環境活動にかかわれないかと考えた末、本業とつなげるというアイデアが浮かんだんです。その結果、取得2年目頃から全社に活動が浸透。今では従業員の約3分の2が内部監査員の資格を得るまでになりました」。

事務局メンバーに新入社員2人が加入!



総務部 総務課
安東 弘之 氏

「活動の運営に事務局は欠かせない存在。ですが、理想を言えば、たとえ事務局がなくなっても運営に支障がなくなるほど全社員の参加意識を高めていきたいですね」。



ソフトバッグ事業部
中川 千紘 氏

「社内はもちろん、周辺住民の皆さんにもフクナガの取り組みを知っていただきたい。そして、地域の環境改善のお役に立ちたいと思っています」。

2003年3月 スタート

事務局初代メンバーに
抜擢されたのはこの3人!



総務部 経理課 課長(当時) 東 晃佑 氏
取締役総務部長 手嶋 國浩 氏
総務部 総務課(当時) 新木 宏枝 氏

2003:環境配慮型製品の開発・事業化、職場の周囲の整理整頓
手嶋氏と東氏、新木氏、コンサルタントの中村先生の4人でささやかな祝杯

2004年

2004:環境負荷低減のための設備投資(スクラップヤードの路面整備、電気設備配線の整備)

2004年2月認証取得!

2005年

2005:5S活動の推進

2006年

2006:商品在庫の削減、広報活動(環境コミュニケーション)の推進

「もっと環境に優しく!」。そんな福永社長の強い思いから、2003年3月に始まった「ISO14001認証取得」プロジェクト。そのメンバーに選ばれたのが、手嶋氏と東氏と新木氏の3人だ(当初は3人だったが、2004年に新木氏が異動)。しかし、全員ISOに関する知識はほとんどゼロ。そこで、強力な助っ人としてエコソフトタイヤの開発協力者であり、環境コンサルタントとしても活躍する中村先生を迎え、1年後の取得を目標にプロジェクトがスタートした。

入社早々、事務局メンバーに抜擢!

「2003年の3月、僕が入社したのと同時に認証取得のプロジェクトが始まったのですが、なぜか新人の僕もそのメンバーに入れられていたんです(笑)最初は正直、右も左もわからず戸惑いましたが、任されたからにはがんばろうと中村先生の指導のもと、自分でも専門書を何冊か読みました。ただ、これが非常に難解で、特に法律関係の記述は専門外の僕にとってはお手上げ。何度読んでも理解できない不明点については、関係機関などに直接問合せをして理解するよう努めました」。



仕事の後の打ち上げ

5S活動の推進

毎月1回、職場の5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)が守られているか、中村先生が定期パトロールを実施。5S活動の推進が、業務の効率化にもつながっている。

before

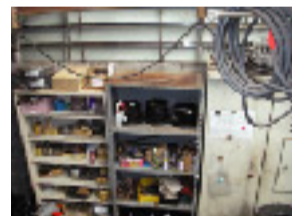


お世辞にも整理整頓ができていない状態だった…。

after



備品管理をするうえで、置き場所を線で録取りしたり、使用している人が名札を置き、所在を確認・確定する取り組みも行っています。



全員が5Sを心がけるだけで、職場が美しく大変身!「スクラップ屋=職場が美しくないとわれがち。そんな先入観を覆す、「スクラップ屋らしくない美しい職場」をめざしています」。



3か月に一度、コンサルタントの中村先生と福永社長を交えた定例会議を実施。それ以外にも、必要に応じてメンバーでミーティングを開いている。



2人の新メンバーが加わり、パワーも倍増。「今後もよろしく願っています!」。

エコソフトバッグのク

じょうもうしげん
上毛資源株式会社

TEL : 027-251-7395
FAX : 027-251-7337
http://www.j-shigen.co.jp

地球の環境を守る最前線で上毛資源は活動しています。
エコソフトバッグがつなぐ、みんなのク。今回は、群馬県を中心に総合建物解体工事や産業廃棄物収集運搬・処理を手がける上毛資源株式会社を訪問。新開発の二重化を図ったエコソフトバッグの有効性について、現場の声も交えてレポートする。

作業の大幅な効率アップを実現

産業廃棄物の業者は多いが、収集運搬から処分（中間処理）までを1社で行える業者は群馬県では3〜4社。上毛資源はそうした中でもトップクラスだ。

「エコソフトバッグ」を使い始めたのは1999年から。主力の建設現場では木くず、金属くず、廃プラスチックなどの廃棄物が出るが、これを中間処理場に運んでから分別作業をしていたのでは非効率。そこで現場で分別するためにエコソフトバッグを採用した。金属くずは鉄箱、それ以外の廃棄物はエコソフトバッグに分別収集する。仮に100㎡の廃棄物が出る現場だとその70%、つまり1㎡のエコソフトバッグに換算して70枚を使用し、残りを鉄箱に分別する。

「分別していない状態で廃棄物を収集する場合、回収車に搭載しているクラブシェル（掴む装置）ではエコソフトバッグの20〜30%しか一度に掴めないで、それだけ時間がかかります。さらに中間処理場に運搬してから回収車1台分を分



社員の駐車場の壁面に、近所の絵画教室の子どもたちに壁画を描いてもらうなど、地域貢献も意識しています。



廃棄物はエコソフトバッグに分別収集。



別するのに、4〜5人がかりで20〜30分はかかる。それがエコソフトバッグだと、クレーンで吊って現場から回収し、中間処理場に運んですぐに処理作業に取りかかれるので、半分以下に時間短縮できますね」と勅使川原氏。

新開発の二重バッグがさらに貢献

エコソフトバッグには「二重バッグ」が新登場した。実はこのバッグ、耐久性を高めて使用可能回数を増やすことにより、コスト削減や環境負荷軽減を目指したもので、上毛資源とフクナガが共同開発した。

「二重バッグの効果が出始めて、バッグの使用量は減ってきました。フクナガさんは困るかもしれないが（笑）、5割は減らしたい」と佐伯氏。二重化したことで単価は上がったが、耐久性が倍以上なのでトータルコストは削減される。現場からも「丈夫になって作業効率は上がった」と評判は上々だ。

今後、この二重エコソフトバッグの使用率を高め、環境貢献企業としての姿勢をさらに鮮明にしていく計画。その目玉が2007年9月に稼働開始予定の「上毛エコステーション」だ。

通常、中間処理場や産廃施設は高い塀で囲い、中で何をしているか分からないことが多い。上毛エコステーションはそうした塀を取り払い、完全屋内型の工場として建設。稼働を開始すれば、既存設備と合わせて1日の処分量は900㎡に拡大する。

こうした施設は群馬県では初めてで、モデルケースとして県も注目している。エコステーションでは廃プラスチック、木くず、紙くずを固形燃料（RPF）として資源化することも計画中。これらを通して今後は、産廃処理だけでなく製造業にも着手していく予定だ。



営業部 営業部長
勅使川原 守 氏



代表取締役
佐伯 一 氏

第6回 フクナガ探検隊

今回のターゲットは、リサイクル事業部の氷室浩一氏。日々、危険と隣あわせの現場で、細やかな気遣いを発揮する彼の究極のリラックス方法とは？

大型トラックやフォークリフト、持ち込みに訪れた回収業者さんなど、氷室氏の仕事場には一日、人や車の出入りが絶えない。そんな慌ただしい現場で、決して忘れてならないのが「安全」だ。「かなりの慎重派」という氷室氏も、常に自分はもちろん周囲に対しても細心の注意を払っているという。「もし誰かが足場の悪い場所で作業していたら、全員で注意し合う。仕事にはそんなチームワークが何より大事」と語る。

そんな氷室氏の、休日の過ごし方はというと…。「普段はもっぱら身体を休めています。正月休みは例年、夫婦で北海道へ旅行。観光地へは行かず、露天風呂につかって、毛ガニやウニなど新鮮な海の幸を味わうのが定番」だそう。うーん、聞いているだけで羨ましい！ 簡単なようでなかなかできない、こんな究極のノンビリ旅。皆さんも、ぜひトライしてみてください。

INTRODUCTION

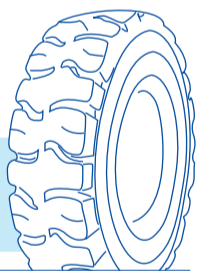


名称 氷室浩一氏
生息地 リサイクル事業部

2000年5月に入社後、ソフトバッグ事業部に約2年間在籍。3年前からリサイクル事業部に配属され、金属くずの買取や仕分け、積み込み作業などを担当している。

エコソフトタイヤ 開発談 #02

「エコソフトタイヤ」は今までにない発想の商品です。私もその開発に携わらせていただいているのですが、そんな私の日々を少し切り取って、お伝えしてみたいと思います。



エコソフトタイヤの最大の特徴は、カバータイヤとコアタイヤに分かれた取り外し可能な二重構造。その特徴を最大限に活かして、お客様に喜んでもらうためにはどうすればよいか、という発想で出てきたのが黒いタイヤ跡が床面につかない「カラー」の「カバータイヤ」です。ノーパンクタイヤを使っているお客様の中には「カラータイヤに移行したいけど、ちょっと割高だよな・・・」という方もおられるのではないのでしょうか。エコソフトタイヤは磨耗したカバー部分だけを交換し、まるで着せ替え人形のように使うことができるよう目下開発中ですが、なかなか難しい部分もあります。黒のゴムとは違い、汚れが目立つので、原料の保管方法から気を払わなければならない。また、製品の成型時に際しても生産条件が当然変わってくるなど、検討しなければいけないことが多々あり、お客様のもとに届くまでにはまだ少し時間がかかりそうです。試作、走行テストを繰り返しながら、早くお客様に満足いただける製品となるよう、がんばります。

エコソフトタイヤ事業部 古川圭一

人気のノーパンクタイヤ「キクロス」に 過酷な使用現場向け『CTR』タイヤが新登場! 好評発売中!

ノーパンクタイヤとして、多くの皆さまにご愛用いただいている「キクロス」ブランド。この度、同ブランドに「過酷な使用現場向け」として『CTR』タイヤが加わりました。『CTR』タイヤは、スタンダードタイプに比べ、ゴム欠けが起りにくい新配合で製造しているのが特徴。そのため、金属片の多い製鋼所など「すぐにタイヤが欠けてしまう」といった悩みを抱えておられる現場でこそ、その威力を存分に発揮します。スタンダードタイプ同様、ホイール装着済で全国どこへでもお届けしますので、ぜひ一度お気軽にお問い合わせを。

◎特徴

- ゴム欠けが起りにくい新配合なので、過酷な使用現場に最適
- クッション性にすぐれ、大切な荷物と作業員を振動から守ります
- ゴムの振動吸収性にすぐれ、静かなバッテリー車をより静かに保ちます
- 耐摩耗性がぐ〜んとアップ! タイヤが長持ちする分経費削減にもつながります

◎こんな作業現場にオススメです

- 金属片の多い製鋼所
- 鋭利な破片が散在している現場
- 縞板状の鉄板の上
- 快適な乗り心地を追求する現場
- 急加速・急ブレーキの多い現場

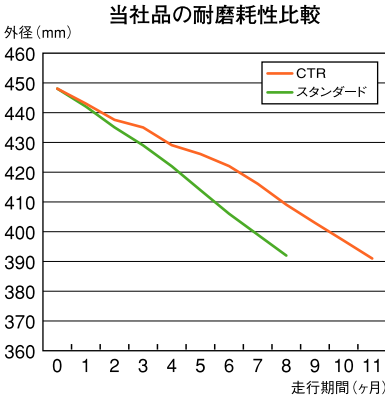
当社従来製品との耐摩耗性比較テストについて

■現状までの耐摩耗性比較

ヵ月後	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
CTR	外径 448	442.7	437.4	435	429	426	422	416	409	403	397	391
スタンダード	外径 448	442	435	429	422	414	406	399	392			

(単位はmm)

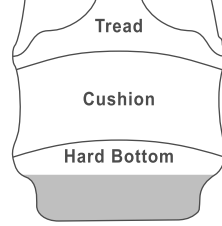
■磨耗グラフ



■使用条件

タイヤサイズ:18×7-8
使用車両:2tバッテリー車 後輪
使用路面:粗めのアスファルト
月間平均稼働時間:80時間

■断面形状



CTRタイヤ



タイヤ欠け例



エコソフトタイヤ事業部
TEL ☎ 0120-69-7655 FAX ☎ 0120-39-8974
http://www.kyklostire.com/ctrtire.html

▶▶ エコ太くん ▶▶



乾の日記

連載2回目の「乾の日記」。このコーナーではフクナガの川崎オフィス成長記録を営業マン乾が赤裸々に綴っていきます。

大阪から川崎に引越して一年が過ぎた乾です。関東と関西ではさまざまな文化の違いがあります。有名なのはエスカレーターの立ち位置、関東は左で関西は右です。いろんな説があるみたいですが、関東は「侍が刀を左に差していたから」関西は「江戸時代に商人が風呂敷包みを右に持っていたから」と聞いたことがあります。どの地域から左右が変わるのかと思っていたら、岐阜では右にも左にも立っている方がいました。(たまたまかも?) 先日も癖で「たぬきそば」と注文したら「天かすそば」が出てきました。大阪ではたぬきそばは油揚げの入ったそばですが、東京ではきつねそばなんですよね。同じ関西でも京都にはきつねそばはあるんです。京都のきつねはあんかけの意味らしいです。ややこしくなってきたので今回はこのへんで。

Information Information Information

4月より営業時間を変更しました。

4月より営業時間を変更しました。すべての土曜午後は休業となります。ご了承ください。

【営業時間】月曜日～金曜日8:00～12:00、13:00～17:00
土曜日8:00～12:00

【休業日】土曜日午後、第2土曜日、日曜日、祝日、お盆、年末年始
※営業時間外につきましては、留守番電話に切り替わる場合がございます。

沖縄社員旅行 Report

3月11日から2泊3日の沖縄旅行。伊丹空港と、3月開港した神戸空港の2便に分かれて沖縄を目指したはずが、後発の神戸出発組の飛行機が濃霧のせいで欠航に! 後発組は福岡経由でその日の夜に沖縄に到着し合流するも…。美ら海水族館、ナゴパインナップパーク、東シナ海を一望できる万座毛、亜熱帯植物を観賞できる「ビオスの丘」へ行く予定が、急に雲行きがあやしくなり、とうとう大粒の雨がたたきつけてきました。そのままホテルへのごすと帰った社員一行でした。

下の写真は1日目に全員そろわないまま首里城公園で撮影した一枚。今となっては笑えますが、このときはみんなの表情もどことなく寂しげです。来年の社員旅行はお天気に恵まれるといいですね? N部長(今回の件ですっかり飛行機運があやまれるN部長でした)



読者プレゼント

今回は夏を涼しく快適に過ごすためのアイテムを合計5名様にプレゼント。ご希望の商品名、会社名、氏名、年齢、住所、電話番号、フェコニュースの感想をご記入のうえ応募ください。



ビールサーバ 1名様 A賞

夏といえばやっぱりビール。持ち運びも可能なのでいつでもどこでもおいしいビールが楽しめます。

B賞 風鈴 1名様

ビロードのキレイな音が気分をさわやかにしてくれます。見た目にも美しく涼しげです。



アイビロー 3名様 C賞

冷蔵庫で冷やして使用し、目元をひんやりさせてくれるアイビロー。

応募方法 専用のアンケート応募用紙をFAXで下記までご応募下さい。
宛 先 (株)フクナガエンジニアリング フェコニュース編集部
FAX番号 06-6969-3611
URL http://www.ecosoft.co.jp/
応募締切 7月31日(月) 必着

発行元: (株)フクナガエンジニアリング
〒536-0014
大阪市城東区鳴野西5-13-30
TEL 06-6969-3631 (代)
FAX 06-6969-3611
E-mail info@ecosoft.co.jp



http://www.ecosoft.co.jp/ 携帯で簡単アクセス!



株式会社フクナガエンジニアリング

●今後フェコニュースの送付が不要なお客様へ●
お手数ですが、「今後フェコニュースの送付を必要としない」との旨を
電話・FAX・E-mail等でフェコニュース編集部までご連絡ください。



REGISTERED FIRM
登録番号 OHS-Q0013



ENS Accreditation
RECO

※ISO14001認証取得範囲は
本社のみです。

AFTERWORD

今回、フクナガ探検隊の取材のため、ヘルメットをかぶってお話を伺いに行きました。現場はさぞかし恐いところなのかと覚悟をしていたのですが、5Sパトロールを実施しているだけあり、現場はキチンと整理されていました。仕事にも関わらず終始笑顔でお話をいただいた氷室さん。ありがとうございました。

編集後記



再生100%用紙および、インクには大豆油を使用。